令和7年度（2025年度）

事業計画書

社会福祉法人　容風会

社会福祉法人容風会 おきなの杜

中長期計画2025－2030

～未来の介護をおきなで創る～

おきならしさの追求

■おきなの杜が望むこと・約束することは3つある。

①　＜社会福祉法人容風会　法人理念＞（おきなの杜の目指すもの・存在意義）

自然と人、人と人、人と地域をつなぎ、

「感動を提供し、感情に溢れる時間と環境づくり」

子どもから高齢者までが心身共に健康で、活き活きとしたライフスタイルを創出する

「地域ぐるみの健康の里づくり」を目指す。

＜総合福祉施設おきなの杜　運営方針＞（おきなの杜が約束する“いい介護“とは）

1. 個人の意思の尊重

   自分の意思で自分のスタイルにあった暮らしをサポートする。

2. 自宅（在宅）生活の継続

   これまでの生活をできるだけ継続できるようサポートする。

3. 豊かな人生の創造（QOL）『おきなの杜の感動政策』

   喜び・夢・希望など、感動を喚起し、心豊かに暮らすことをサポートする。

②　＜社会福祉法人容風会　行動規範＞（おきなの杜の職員として持つべき意識）

ワンチーム　　ワンハート

ONE TEAM with ONE HEART

（今後、行動規範の通称とします）

「おきなの杜の職員は1つのチームとして、テーマ・目標を共にし、

コミュニケーションとチームワークを大切に、お互いを高め合おう。」

③　＜社会福祉法人容風会　行動誓約＞（おきなの杜職員のおもてなし精神と、お互いへの約束）

おきなプライド5－15

～おもてなしの心を、情熱と品位と規律と結束と尊厳をもって～

■これまでの取り組み

～2021年　スローガン～

2021年、創立15周年を迎えた年に、次の15年のためのスタートとして、『 NEXT 15 ～おきならしさの追求～ ONE　TEAM with ONE HEART』をテーマに、これからも選ばれる施設として挑戦を続け、高い品質でご利用者からの信頼を獲得していきたいと思います。
そのために、おきなの杜行動規範の第一条である、「おきなの杜のスタッフは、1つのチームとしてテーマ・目標を共にし、コミュニケーションとチームワークを大切に、お互いに高め合う。」を再確認し、全員で守っていきたいと思います。
今年度の介護保険制度の改定では、**「科学的介護」**、**「LIFE**＝データを活用した介護」や、**ICT、AI**などのキーワードが並び、これまでの介護現場・仕事の仕方が大きく変わる（変えなければならない）ことになります。
昔、プロ野球で用いられたデータを活用した「データ野球」のような**『データ介護』**が始まります。
記録をスマホやタブレットで行ったり、見守りカメラやセンサー、インカム（トランシーバーのようなもの）を活用しスタッフ間のやりとりをしたり、ノーリフティングケアが必須になり、抱えずリフトを活用したりと、機械の力を借りて、「<u>機械にできることは機会に任せ、人にしかできないことをしっかりと人がやる</u>」介護に変わります。
「NEXT15　～おきならしさの追求」は、これから先の15年後をイメージしながら、そのような「ハイテク・ケア」・**「スマート・ケア」**を目指すスタートの年を意味します。
大変化の年です。
だからこそ、みんなで力を合わせて、頑張っていかなければなりません。
これからも、スタッフ一人ひとりの力を貸してください。よろしくお願いします。

～2022年スローガン～

～冒頭省略～　2年目の今年は、「～ 絶対大丈夫！おきなの*Challenge　Spirit* ～」をテーマに、みなさまが人間的で豊かな時間を過ごし、上質で快適な暮らしをおくっていただくため、**自立を支援する介護（自立支援介護）の実践**にチャレンジします。
日々のケアが根拠に基づき提供され、スタッフひとりひとりが**自分の仕事に自信と誇りをもち、大きな成長を遂げるため、科学的な介護を身につけていきます。**

↓

そして今、

2025年スローガン

『期　待』

～　自分に期待し、他者の期待に応える　～

成長とやりがいに満ちた感動のある介護で、感謝のある仕事しよう！

社会福祉法人容風会 おきなの杜　中長期計画2025-2030

未来の介護をおきなで創る

～おきならしさの追求～

■「中長期計画2025－2030」の三大目標

1：業務推進（生産性の向上と業務改善）

①：法人全体の業務推進本部として「おきなのケア推進室」（仮称）を設置

これまで、施設介護部と地域介護部でそれぞれ取り組んできた自立支援介護やノーリフティングケア、認知症ケア対策のユマニチュードや、介護現場の業務改善・生産性向上に向けた介護DX（記録ソフト、インカム、見守り機器、バイタルセンサー他）を、法人全体の取り組みとして横断的に推進するため、「おきならしさを追求し、次世代のための未来の介護現場を創る『おきなのケア推進室』（仮称）を設置します。

②：取り組みの習熟と浸透を図り、一流のスタッフを育成する

『おきなのケア推進室』を中心に、自立支援介護やノーリフティングケア等の取り組みを全職員の浸透させるための教育体制と、日々のチェック機能を整え、成長とやりがいのある仕事と職場を目指します。

また、IT／AI／ICTや介護ロボット等をしっかりと使いこなせるよう、操作方法や分析力を養うための教育を行います。

③：サービス向上を目的とした業務改善・生産性向上に資する職場環境の整備

時代や法律に沿った「未来の介護」を実現し、サービスの向上を図るために必要なICT/AI/機器介護ロボット等の整備を加速させます。同時に人にしかできないことの、業務改善・生産性向上に向けた「タイムスタディ」（日々の活動データ分析）も行います。

④：事務局改革と働きたいと思える環境整備

常に法人全体の状態を把握し、前向きな状態をキープした「先を見越した事務局」作りを進めていきます。そのため、社会福祉法人の経営参画に意欲・興味のある新卒生の採用を促進し、持続可能な法人経営に向けた「事務局改革」を推進します。IT・AIに対応した人材を採用し、業務改善、発信力強化によるリクルート力を高めます。

また、外国人人材の雇用に対応する体制づくりを行います。

⑤：生活環境・職場環境のリニューアル

住民・利用者の快適な生活空間のみならず職員の「働きたくなり自慢の職場」を目指し、空間整備、内装リニューアルに取り組みます。

2：人材育成・スキルアップ教育

①：法人理念等の理解・浸透

全員が同じ目標や目的に向かい、ともに成長することを大切にするため、おきなの杜が望むこと・約束すること（法人理念・行動規範・おもてなし）を再確認・再認識し、全職員の理解と浸透を図ります。

そのため、年1回の全体集会以外に「おきな人委員会」（新設）の中での研修を行います。

②：ケアマネジメント力とコミュニケーション力の育成（マネジメント研修の通年実施）

住民や利用者を中心に置いた会話や話し合いを常日頃から行うコミュニケーション力を養い、記録の分析・事故対策予防・健康管理・機能訓練計画・栄管理計画等、それぞれの専門職種の知識と分析力・計画提案力を強化し、現場にタイムリーに適格適切な指示を出すようになるための「マネジメント研修」を通年で実施します。

③：外国人人材の積極的活用と大学生・高校生等の採用強化

養成機関と連携し、ミャンマー等からの外国人留学生等を定期的に受け入れ、安定した人員体制を維持することで、充実した「おきなの介護」を実現します。

また、福祉業界の経営や運営等に興味のある若手人材の採用を強化し、将来の経営・運営の幹部候補を育成します。

3：地域貢献度のアップ（発信力アップ）

地域資源としての役割を果たすため、コロナウィルス感染対策で途絶えた外部に向けた活動交流を再開・強化します。

法人理念に沿い、地域の子どもから高齢者までが心身共に健康であるよう、健康教室や認知症サロン、子ども食堂の他、ヨガスタジオや部活動支援等、保険外サービスを含め、考えられる地域貢献活動を検討・実施していきます。

＜例＞　・介護に関するセミナー・介護相談会の開催。

・校区の行事・祭りへの出展参加等。

・おきなの杜施設見学会・介護セミナー等の定期実施。

・「おきなの杜感謝祭」の地域住民参加の復活と出店協力依頼。

・OKINA de ARUKUのサービス時間外に、ヨガスタジオや健康教室を実施。

・地域交流スペースの貸し出し。

また、社外に対して法人の魅力を発信し、採用力を高めるため、若手職員を中心とした「おきなリクルート隊」（仮称）を結成します。

＜事業所別　事業計画書＞

1.特別養護老人ホーム　おきなの杜　P7

2.ショートステイおきなの杜　別館　P8

3.おきなの杜デイサービス　いきがい元気塾　P9

4.おきなの杜デイサービス　やりがい文化村　P10

5.おきなの杜デイサービス　OKINA de ARUKU　P11

6.地域介護支援センター　おきなの杜　P12

7.経営管理本部　事務局　P13

※今年度の事業計画書よりフォーマットを変更しました。

まず、初めに『各事業所が大切にしている使命』を記載しました。
その使命を果たすため、以下の流れで目標・計画を掲げています。

1. 中長期目標
2. 今年度の目標
   ①稼働率目標
   ②利用者支援サービスの充実目標
   ③地域社会への取り組み
   ④人材育成、職場環境整備、研修計画など
3. 設備改修・システム導入、備品購入計画

カテゴリー別に記載することで、今まで以上に目標・計画を明確にすることができ、
事業所別、プロジェクト別のタスク管理に取り組むことができるようにしました。

事業所名	特別養護老人ホーム おきなの杜

（定員70名、スタッフ数55名）

事業所ミッション	感動を提供し、感情にあふれる時間と環境を提供

住民様のプライバシーとプライドを大切に、おひとりおひとりの尊厳を支えるケアを実践します。
おもてなしの心を大切に、日々の暮らしにおいて「感動を提供し、感情に溢れる時間と環境づくり」を使命とし、住民様がこれからの人生も心豊かに過ごせる日々をサポートします。

１．事業所の中長期目標

・「自立支援介護」を実践していくため、専門職スタッフと介護主任による「ケアマネジメントチーム」を結成し、現場の介護スタッフと一緒に目標と目的を理解し、PDCAサイクルをまわすためのマネジメントをおこないます。
・「生産性向上・DX推進」を加速するために必要な機器を計画的に導入し、成果につなげます。
・「人材育成の強化」に向け、次世代リーダーの育成や技術向上など、社内・社外研修に参加できる仕組みを作ります。

２．今年度の重点目標

【①稼働率目標】

令和４年度実績	令和５年度実績	令和６年度予測	令和７年度目標
96.51%	95.03%	96.00%	98%
（年間空床）871	（年間空床）1,201	（年間空床）1,014	（年間空床）500

【②利用者支援サービスの充実目標】

目標１	自立支援介護を確立し、4つの基本ケア「水分、食事、排泄、運動」を実践する事で、住民様・ご家族様の夢をかなえ、ＱＯＬの向上を目指します。併せて重度化防止と医療体制を強化し入院者を減らします。
目標２	業務改善と生産性向上を推進します。業務分担を明確にし、効率的な業務体制を整えます。また、「眠りスキャン」を活用した夜勤業務の見直しや必要な機器の導入計画を推進し、生産性の向上を図ります。
目標３	スタッフのスキルアップと能力均衡を目指します。自立支援介護の学習会の実施や各スタッフの業務の到達レベルの確認をおこない、適切な指示、教育をすることで介護技術の均衡を図ります。

【③地域社会への取組み】

・特養の紹介や申し込み方法に関する講習会や見学ツアーを実施し、地域の皆さまの理解を深めます。
・ふれあい委員会や校区祭りへの参加、ボランティア・実習生の受け入れを通じて、地域との連携を強化します。
・家族会を開催し、ご家族同士の交流やスタッフとのコミニュケーションを深め、より住民様の生活向上に努めます。

【④人材育成、職場環境整備、研修計画】

・自立支援介護は、ケアマイスターが中心となり、定期的に学習会を実施し、中堅スタッフは順次エキスパート研修を受講し、知識習得を促進します。
・スタッフとの懇親会やお悩み相談会をリーダーが進行役となって開催し、働きやすい職場環境を作ります。
・外部研修（喀痰吸引、認知症実践者研修等）への積極的な参加や他施設への見学や交流等を通じ、成長を目指します。
・ユニット型特養の中でも厳選された施設のみに認められる「ユニットリーダー研修実地研修施設」を目指します。

３．今年度の設備整備改修およびシステム導入、備品購入計画

（千円）

第１期（4～6月）		第２期（7～9月）		第３期（10～12月）		第４期（1～3月）	
物件名	金額	物件名	金額	物件名	金額	物件名	金額
眠りスキャン費用	615	眠りスキャン費用	615	眠りスキャン費用	615	眠りスキャン費用	615
ﾀｲﾑｽﾀﾃﾞｨ「ハカルト」導入	30	ﾀｲﾑｽﾀﾃﾞｨ「ハカルト」導入	30	ﾀｲﾑｽﾀﾃﾞｨ「ハカルト」導入	30	ﾀｲﾑｽﾀﾃﾞｨ「ハカルト」導入	30
		ハナスト記録導入	1,500				
合　計	645	合　計	2,145	合　計	645	合　計	645

事業所名	ショートステイ おきなの杜別館

（定員１０名、スタッフ数９名）

事業所ミッション	自宅のような安心感と高級旅館に泊まるようなサービスを提供

私たちは、ご家族に代わって利用者様の短期的・一時的・定期的な滞在をサポートします。「自宅のような安らぎ」と「旅館のようなワクワク感」を提供し、一人ひとりに寄り添った時間と環境を作ります。また、在宅生活の継続に必要なADLの維持・向上を目指し、自事業所と連携しながら質の高いケアを提供し、選ばれるショートステイを目指します。

１．事業所の中長期目標

・ADLの維持・向上を目指し、個別対応の強化を行い、日中のレク、行事企画を充実させます。
・「自宅のような安らぎ」と「旅館のようなワクワク感」の実現を目指し、利用者様自身がショートステイおきなの杜別館に「また行きたい」と思われるような、選ばれるショートステイを目指します。
・スタッフの働きやすさを重視し、持続可能な運営体制を構築します。

２．今年度の重点目標

【①稼働率目標】

令和４年度実績	令和５年度実績	令和６年度予測	令和７年度目標
91.94%	95.20%	93.30%	95%
9.1人/日	9.5人/日	9.3人/日	9.5人/日

【②利用者支援サービスの充実目標】

目標１	利用者の趣味や希望に応じた個別レクや機能訓練を充実させ、季節行事や新たな取り組みを取り入れながら、楽しく飽きない環境を提供します。
目標２	スタッフ間での業務フローを見直し、重複や無駄な作業を削減し、業務分担を明確にします。シフトや担当業務を効率よく配分することで、時間を有効活用できるようにします。
目標３	利用者様の自立支援目標をご家族と共有し、ご家族が自宅でも支援を実践できるようにサポートを行い、在宅での生活が継続できるように行います。

【③地域社会への取組み】

・地域の皆さまに向けて、ショートステイの紹介や利用方法についての講習会を市民センター等で開催します。
・ショートステイの見学ツアーを実施し、地域の方々に理解を深めていきます。
・ふれあい委員会や校区祭り等への積極的参加、地元学生の実習生の受入れなど、地域資源の活用と連携を進めます。

【④人材育成、職場環境整備、研修計画】

・スタッフが気軽に意見を言い合える雰囲気を作り、上司や同僚との関係を良好に保てるよう取り組みます。
・スタッフが積極的に必要な知識と技術を習得し、利用者様に質の高ケアを提供できるよう取り組みます。
・日々の業務において、スタッフ自身が成長を感じられるよう、成功体験を積み重ねる機会を提供し、小さな目標達成を共有し、モチベーションの向上に繋げます。
・全スタッフが認知症ケア実践者研修を受講します。

３．今年度の設備整備改修およびシステム導入、備品購入計画

（千円）

第１期（4～6月）		第２期（7～9月）		第３期（10～12月）		第４期（1～3月）	
物件名	金額	物件名	金額	物件名	金額	物件名	金額
ベッド柵	165						
サポート手すり	40						
合　計	205	合　計	0	合　計	0	合　計	0

事業所名	おきなの杜デイサービス　いきがい元気塾

（定員35名、スタッフ数13名）

事業所ミッション	～要介護をつくらない、病気にさせない。ウエルネス！～

介護予防・生活支援の拠点として「地域包括ケアシステム」を充実させ、いきがいの創出、楽しみや自信となるプログラムを提供し、「来れば元気になる、また来たくなるデイサービスセンター」を目指します。
自立支援介護とユマニチュードの掛け合わせで、認知症ケア・重度化防止の対応ではどこの事業所にも負けません。

１．事業所の中長期目標

・業務改善・生産性向上を図るため、現在使用している「ケアカルテ」を全員が使いこなすスキルを身に着けます。
・入浴時の利用者、スタッフの身体的、精神的な負担を軽減させることや、安心で快適な入浴が提供できるように、ノーリフティングケアの学びを深め促進させるとともに、浴室の環境整備・入浴機器の見直しを図ります。
・認知症café、子ども食堂の新設を目指し、日曜日のデイの定期的な開放をし地域の方との交流の場を増やします。
・スタッフの活躍の場を広げるため、３つのデイのどこででも業務が出来るようなやる気とスキルと環境を整えていきます。

２．今年度の重点目標

【①稼働率目標】

令和４年度実績	令和５年度実績	令和６年度予測	令和７年度目標
83.96%	77.97%	82.85%	90%
29.5人／日	27.3人／日	29.0人/日	31.5人／日

【②利用者支援サービスの充実目標】

目標１	スタッフ一人一人のスキルアップとチーム力を高め、自立支援介護を加速させます。 利用者の自己選択と自己決定の場を増やし、ADLとQOLの向上！デイサービスの使命を果たします。
目標２	認知症ケアのプロ集団となれるよう、ユマニチュードケアの浸透、スタッフ全員が高い知識と対応力を身につけます。安心して在宅生活継続ができるよう、家族支援にも力を入れます。
目標３	稼働率目標達成を目指すため、外部への発信力を強化します。家族と、ケアマネと、他事業所と、地域と繋がることで、元気塾ファンを増やします。利用者家族満足度、スタッフのやりがい№１の事業所になります。

【③地域社会への取組み】

・市民センター等の場所を借り、機能訓練指導員や看護師の健康講座などの勉強会の場を３デイで取り組んでいきます。
・「おきな×学生」と題し近隣の学校等に出向き、学生たちへ「福祉」について発信し興味をもってもらえるよう取り組みます。
・FamilyDAYを作り、スタッフ×利用者×家族×ケアマネの輪が広がる場所を提供できるよう取り組みます。

【④人材育成、職場環境整備、研修計画】

・県内外への研修を計画的に行ない、「学ぶ楽しさ」から得たもので視野を広げ、部署に持ち帰り、気づきや課題を抽出し業務改善や生産性向上につなげていきます。
・デイサービスでの自立支援介護を知識を深めるために、エキスパート受講者を増やし、学習の場を設けます。
・DX、ICT化への取り組みを加速させ、先進的デイサービスとして内外から評価されるよう全員がスキルを高めます。

３．今年度の設備整備改修およびシステム導入、備品購入計画

（千円）

第１期（4～6月）		第２期（7～9月）		第３期（10～12月）		第４期（1～3月）	
物件名	金額	物件名	金額	物件名	金額	物件名	金額
ハナスト記録導入	480						
合　計	480	合　計	0	合　計	0	合　計	0

事業所名	おきなの杜デイサービス　やりがい文化村

（定員３６名、職員数１２名）

事業所ミッション	生涯学習・大人のカルチャーセンター

やりがい文化村は緑に囲まれたカフェテラスのような雰囲気を大切にし、趣味や生きがいのために利用者ニーズに沿ったプログラムを提供し続けます。「本気で取り組む、大人の生涯学習の場」を大切に充実した時間を提供します。

１．事業所の中長期目標

・現在使用している「ケアカルテ」を使いこなし、さらなるデジタル＆ペーパレス化の実現に本気で取り組みます。
　業務改善・生産性向上への成果につなげることで、毎月の「稼働率90%以上」の維持をしていきます。
・認知症café、子ども食堂の新設を目指し、日曜日のデイの定期的な開放をし地域の方との交流の場を増やします。
・スタッフの活躍の場を広げるため、３つのデイのどこででも業務が出来るようなやる気とスキルと環境を整えていきます。

２．今年度の重点目標

【①稼働率目標】

令和４年度実績	令和５年度実績	令和６年度予測	令和７年度目標
87.20%	87.44%	86.67%	90%
31.4人/日	31.5人/日	31.2人/日	32.4人/日

【②利用者支援サービスの充実目標】

目標１	初心に戻り文化教室の幅を広げ、一人ひとりに寄り添った活動・運動の提案をおこないます。 本格的な物づくりの提供や男性利用者の獲得に向け、選べる活動の選択肢を増やしていきます。
目標２	自立支援介護の取り組みをマイスター・エキスパートを中心に浸透させていきます。文化村に来たら 「できるコト」が増えた喜びにつながる、その方の達成目標を一緒に叶えていきます。
目標３	稼働率目標達成に向け、週ごとの稼働率をケアカルテのソフトを活用し確認。また、SNS発信を随時行い デイサービス内での取組を外部に発信する力を強化し、やりがい文化村の知名度を向上させていきます！！

【③地域社会への取組み】

・市民センター等の場所を借り、機能訓練指導員や看護師の健康講座などの勉強会の場を３デイで取り組んでいきます。
・「おきな×学生」と題し近隣の学校等に出向き、学生たちへ「福祉」について発信し興味をもってもらえるよう取り組みます。
・FamilyDAYを作り、スタッフ×利用者×家族×ケアマネの輪が広がる場所を提供できるよう取り組みます。

【④人材育成、職場環境整備、研修計画】

・県内外への研修を計画的に行ない、「学ぶ楽しさ」から得たもので視野を広げ、部署に持ち帰り、気づきや課題を抽出し
　業務改善や生産性向上につなげていきます。
・デイサービスでの自立支援介護を知識を深めるために、エキスパート受講者を増やし、学習の場を設けます。
・DX、ICT化への取り組みを加速させ、先進的デイサービスとして内外から評価されるよう全員がスキルを高めます。

３．今年度の設備整備改修およびシステム導入、備品購入計画

（千円）

第１期（4～6月）		第２期（7～9月）		第３期（10～12月）		第４期（1～3月）	
物件名	金額	物件名	金額	物件名	金額	物件名	金額
ハナスト記録導入	480						
フロア電球LED	200						
合　計	680	合　計	0	合　計	0	合　計	0

事業所名	おきなの杜デイサービス　OKINA de ARUKU

（定員午前＆午後各20名、職員数８名）

事業所ミッション	「歩行訓練専門デイサービス」～あなたの「歩きたい」を「歩けた！」の喜びへ

「歩く」にこだわるデイサービスとして、あなただけのオーダーメイドプログラムに沿って専門スタッフがお手伝いします。
成果にこだわり、歩行能力に必要な筋力・バランス・体力・正しい姿勢を評価し丁寧にサポートしていきます。
また測定分析器を用いて訓練のbefore・afterを「見える化」します！

１．事業所の中長期目標

・現在使用している「ケアカルテ」を使いこなし、さらなるデジタル＆ペーパレス化の実現に本気で取り組みます。
　業務改善・生産性向上への成果につなげることで、毎月の「稼働率90%以上」の維持をしていきます。
・認知症café、子ども食堂の新設を目指し、日曜日のデイの定期的な開放をし地域の方との交流の場を増やします。
・スタッフの活躍の場を広げるため、３つのデイのどこででも業務が出来るようなやる気とスキルと環境を整えていきます。

２．今年度の重点目標

【①稼働率目標】

令和４年度実績	令和５年度実績	令和６年度予測	令和７年度目標
81.13%	81.68%	76.80%	90%
32.5人/日	32.7人/日	30.7人/日	35人/日

【②利用者支援サービスの充実目標】

目標１	開設して今年8年目を迎えるにあたりプログラムメニューを一新し、歩く機会をもっと増やします。 また、一人一人の悩みに合わせた個別メニューを専門職が提供・実施し、成果の見える化をします。
目標２	個別メニューを増やします！園芸活動や調理活動等の作業療法要素を交えたプログラムの提供・実施。 ARUKUスタイルの自立支援介護の定着を図ります。
目標３	稼働率目標達成に向け、相談員中心に営業を増やし、集客を図ります。また、SNSでの発信力をさらに 強化し、運動の成果や取り組み内容を随時発信し、成功体験を見える化します。

【③地域社会への取組み】

・市民センター等の場所を借り、機能訓練指導員や看護師の健康講座などの勉強会の場を３デイで取り組んでいきます。
・「おきな×学生」と題し近隣の学校等に出向き、学生たちへ「福祉」について発信し興味をもってもらえるよう取り組みます。
・FamilyDAYを作り、スタッフ×利用者×家族×ケアマネの輪が広がる場所を提供できるよう取り組みます。

【④人材育成、職場環境整備、研修計画】

・県内外への研修を計画的に行ない、「学ぶ楽しさ」から得たもので視野を広げ、部署に持ち帰り、気づきや課題を抽出し
　業務改善や生産性向上につなげていきます。
・リニューアルに伴い、フロアや土間をフル活用できるよう配置換えを定期的に行い「飽き」のこない空間を提供します。
・デイサービスでの自立支援介護を知識を深めるために、エキスパート受講者を増やし、学習の場を設けます。
・DX、ICT化への取り組みを加速させ、先進的デイサービスとして内外から評価されるよう全員がスキルを高めます。

３．今年度の設備整備改修およびシステム導入、備品購入計画

（千円）

第１期（4～6月）		第２期（7～9月）		第３期（10～12月）		第４期（1～3月）	
物件名	金額	物件名	金額	物件名	金額	物件名	金額
ハナスト記録導入	300						
PiT2買い替え	1,000						
合　計	1,300	合　計	0	合　計	0	合　計	0

事業所名	介護相談処　地域介護支援センターおきなの杜

（職員数４名）

事業所ミッション	介護のことなら何でもご相談ください（寄り添う支援、広がる笑顔）

介護に不安や負担を感じたり、介護が必要になっても、いつまでも住み慣れた地域や自宅で過ごしていけるように、医療・福祉・保健などの専門職と連携・連絡調整を図り、自立支援・介護予防を目標とし、本人や家族に寄り添った支援を提供します。

１．事業所の中長期目標

・独立採算を達成するために、貫校区だけではなく、他の地区の地域活動へも参加し、相談件数を増やせるようにしていきます。SNSを活用した、事業所の魅力発信を行います。
・自事業に対して、自事業の魅力（好まれる理由・好まれない理由等）を伝え、男女別・年代別など、時代や流行・利用者が求めるサービス提供で自事業が選ばれるよう、情報提供を積極的に行います。

２．今年度の重点目標

【①実績件数】

令和４年度実績	令和５年度実績	令和６年度予測	令和７年度目標
81人（月平均）	99人（月平均）	111人（月平均）	120人（月平均）
予防9件、介護72件（平均）	予防10件、介護89件（平均）	予防18件、介護93件（平均）	予防20件、介護100件（平均）

【②利用者支援サービスの充実目標】

目標１	利用者・家族１人１人の心身の特性を踏まえ、在宅生活においてその方の有する能力に応じた自立した日常生活を営むために、必要な福祉サービスを適切に利用できるように提案や調整をします。
目標２	地域の医療・福祉・保健サービスや関係する行政機関との綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めることで、最後まで自分らしく暮らせるよう支援します。
目標３	地域からの相談を増やすために、地域の活動（ふれあい委員会等）に継続して参加し、相談しやすい顔の見える関係作りをします。

【③地域社会への取組み】

・自事業と連携し、介護に関する不安や悩みを気軽に相談できるセミナーやイベントを開催します。
・防災に関する情報提供や、要支援者リストを活用し、迅速な対応を行える災害時の高齢者支援体制を構築します。
・地域ケア会議に積極的に参加し、高齢者支援の充実を図り、地域包括ケアシステムの調整役としての役割を果たします。

【④人材育成、職場環境整備、研修計画】

・行政が主催する研修（ヤングケアラー、生活困窮者、他制度等）に参加し、ケアマネジメント力を向上します。
・他事業所との合同事例検討会を継続し、多くのケアマネジャーの意見や支援方法を吸収します。
・業務効率化のため、ケアコネの普及活動を行います。
・年間の研修計画を作成し、法定研修や必須の研修（ケアマネジメントプロセス、認知症や認知症ケア、プライバシーの保護、倫理および法令遵守、ハラスメント対策、感染症の予防およびまん延防止、高齢者虐待防止、BCP）へ参加します。

３．今年度の設備整備改修およびシステム導入、備品購入計画

（千円）

第１期（4～6月）		第２期（7～9月）		第３期（10～12月）		第４期（1～3月）	
物件名	金額	物件名	金額	物件名	金額	物件名	金額
合　計	0	合　計	0	合　計	0	合　計	0

事業所名	経営管理本部　事務局

（事務員５名、用務員ドライバー９名）

事業所ミッション	経営層と現場をつなぐ役割を担い、法人の先進的な運営と安定的な経営を支えます。

経営管理本部事務局は、法人の経営理念、方向性を全スタッフが共有できるよう整備する役割を担います。その中で、
人事・採用、労務管理や請求・経理に精通した事務局を目指し、設備管理、広報活動、防災対策、地域交流に取り組みます。
またDX・ICT化の推進など、先を見越した事業戦略を事業所とともに考え、日本一の法人を目指します。

１．事業所の中長期目標

・法人が目指す経営の安定、DXによる業務の変革において、事務スタッフの専門性と成果の追求を目指します。
・経営においては、毎年の資金収支差額4,000万円確保を目指し、収入の確保と支出の予実管理をおこないます。
・働きやすい職場環境を整え、魅力ある職場の紹介や外部発信を積極的におこないより良い人材の確保を目指します。
・地域感謝祭や市民センターとの交流を増やし、地域との交流を積極的に深めます。

２．今年度の重点目標

【①経営目標＝事業活動資金収支差額】事業の収入－支出　（単位；千円）

令和４年度実績	令和５年度実績	令和６年度予測	令和７年度目標
46,337千円	41,000千円	5,000千円	40,000千円
人件費率68.9%	人件費率70.77%	人件費率72.5%	人件費率71%

【②法人理念実現のための経営目標】

目標１	法人の中長期計画に掲げられている「未来の事務局」に向けて、在籍している事務員の経営参画意欲の向上と新卒採用を実現させ、新たなリクルート戦略やDX・ICT戦略の実現に本気で取り組みます。
目標２	スタッフの定着に向けて、職場環境の整備に努めます。働きやすい職場、やりがいを感じれる職場となる仕組みを推進し、人材の定着を目指し、各部署との調整に努めます。
目標３	事務局の業務の基盤となる事務業務のプロを目指し、ひとりひとりがその自覚を持ち、自己研鑽に取り組みます。生産性の向上、頼られる存在となるよう、専門知識を深め、誇りを持った事務チームを目指します。

【③地域社会への取組み】

・秋に地域住民の来場が叶うよう「地域感謝祭」の開催計画を立て、実行します。
・地域の市民センターや近隣の施設と協力し、災害避難訓練を実施します。
・社内の若手チームと企画し、リクルート戦略を企画し、実際に来て見て体験してもらう職場体験会を実施します。

【④人材育成、職場環境整備、研修計画】

・2021年に取り組んだ「おもてなし接遇マナー研修」を地元航空会社の協力のもと実施します。
・社会福祉法人のスタッフとして知ってほしい「介護保険制度」の仕組みを熟知するための勉強会を開催します。
・事務局会議では、年間を通した研修計画を立て、担当制で専門分野の知識を全員で深めます。
・送迎時の事故ゼロを目指し、外部講師を招き、ドライバーを中心に「安全運転講習」を実施します。
・事務系DXとはどんなことが可能になるか、を理解し、実際に取り組んでいく研修をおこないます。

３．今年度の設備整備改修およびシステム導入、備品購入計画

（千円）

第１期（4～6月）		第２期（7～9月）		第３期（10～12月）		第４期（1～3月）	
物件名	金額	物件名	金額	物件名	金額	物件名	金額
おもてなし研修	400						
マネジメント研修	2,500						
休憩室整備費	1,500						
合　計	4,400	合　計	0	合　計	0	合　計	0